

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年3月20日(2023.3.20)

【国際公開番号】WO2022/224333

【出願番号】特願2022-545331(P2022-545331)

【国際特許分類】

C 0 8 L 2 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 3 / 2 6 (2 0 0 6 . 0 1)

B 6 5 D 6 5 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 L 2 3 / 0 0

C 0 8 K 3 / 2 6

B 6 5 D 6 5 / 0 2

E

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月17日(2021.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無機化合物と樹脂成分とを含む樹脂組成物であって、

前記樹脂成分は、エチレンと炭素数が6～8の α -オレフィンとが共重合され、かつメルトフローレートが0.8g/10分以上4.0g/10分以下であるエチレン- α -オレフィン共重合体Aと、エチレンと炭素数4の α -オレフィンとが共重合されたエチレン- α -オレフィン共重合体Bと、を含み、

前記無機化合物の含有量が、前記樹脂組成物の総質量に対して30質量%以上65質量%以下であり、

30

前記エチレン- α -オレフィン共重合体Aの含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して50質量%以上80質量%以下であり、

前記エチレン- α -オレフィン共重合体Bの含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して20質量%以上30質量%以下である、ポリエチレン系樹脂組成物。

【請求項2】

無機化合物と樹脂成分とを含む樹脂組成物であって、

前記樹脂成分は、エチレンと炭素数が6～8の α -オレフィンとが共重合され、かつメルトフローレートが0.8g/10分以上4.0g/10分以下であるエチレン- α -オレフィン共重合体Aと、高密度ポリエチレンと、を含み、

40

前記無機化合物の含有量が、前記樹脂組成物の総質量に対して30質量%以上65質量%以下であり、

前記エチレン- α -オレフィン共重合体Aの含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して55質量%以上95質量%以下であり、

前記高密度ポリエチレンの含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して5質量%以上20質量%以下である、ポリエチレン系樹脂組成物。

【請求項3】

前記無機化合物が炭酸カルシウムである、請求項1または2に記載のポリエチレン系樹脂組成物。

【請求項4】

50

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリエチレン系樹脂組成物により形成されたポリエチレン系樹脂包装材。

【請求項 5】

ゴミ袋、レジ袋、ファッションバッグ、収納袋または包装袋である、請求項 4 に記載のポリエチレン系樹脂包装材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0002】

課題を解決するための手段

[0006]

本発明は、以下の [1] ~ [5] の態様を含む。

[1] 無機化合物と樹脂成分とを含む樹脂組成物であって、前記樹脂成分は、エチレンと炭素数が 6 ~ 8 の - オレフィンとが共重合され、かつメルトフローレートが 0.8 g / 10 分以上 4.0 g / 10 分以下であるエチレン - - オレフィン共重合体 A と、エチレンと炭素数 4 の - オレフィンとが共重合されたエチレン - - オレフィン共重合体 B と、を含み、前記無機化合物の含有量が、前記樹脂組成物の総質量に対して 30 質量% 以上 65 質量% 以下であり、前記エチレン - - オレフィン共重合体 A の含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して 50 質量% 以上 80 質量% 以下であり、前記エチレン - - オレフィン共重合体 B の含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して 20 質量% 以上 30 質量% 以下である、ポリエチレン系樹脂組成物。

20

[2] 無機化合物と樹脂成分とを含む樹脂組成物であって、前記樹脂成分は、エチレンと炭素数が 6 ~ 8 の - オレフィンとが共重合され、かつメルトフローレートが 0.8 g / 10 分以上 4.0 g / 10 分以下であるエチレン - - オレフィン共重合体 A と、高密度ポリエチレンと、を含み、前記無機化合物の含有量が、前記樹脂組成物の総質量に対して 30 質量% 以上 65 質量% 以下であり、前記エチレン - - オレフィン共重合体 A の含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して 55 質量% 以上 95 質量% 以下であり、前記高密度ポリエチレンの含有量が、前記樹脂成分の総質量に対して 5 質量% 以上 20 質量% 以下である、ポリエチレン系樹脂組成物。

30

[3] 前記無機化合物が炭酸カルシウムである、[1] または [2] に記載のポリエチレン系樹脂組成物。

[4] [1] ~ [3] のいずれかに記載のポリエチレン系樹脂組成物により形成されたポリエチレン系樹脂包装材。

[5] ゴミ袋、レジ袋、ファッションバッグ、収納袋または包装袋である、[4] に記載のポリエチレン系樹脂包装材。

発明の効果

[0007]

本発明によれば、無機化合物が添加されていてもフィルム強度、伸び、シール強度、衝撃強度を兼ね備えたフィルムが得られるポリエチレン系樹脂組成物、および、前記ポリエチレン系樹脂組成物を用いたポリエチレン系樹脂包装材を提供できる。

40

発明を実施するための形態

[0008]

[ポリエチレン系樹脂組成物]

本発明のポリエチレン系樹脂組成物（以下、「PE系樹脂組成物」とも記